

## 平成23年度事業報告

平成23年3月、三陸沖を震源地とするマグニチュード9.0の大地震が発生し、国内最大の津波が東北から関東に及ぶ太平洋沿岸地域を襲い、死者と行方不明者は1万9千名を超した。津波により東京電力福島原発は、原子炉の冷却に必要な電源を失い、建屋内での水素爆発等により放射性物質が拡散し、畜産物、農作物、飲料水等から基準値を超す放射性物質が検出された。原発事故は、原発周辺住民の避難、農産品への被害並びに風評被害をもたらした。原子力発電の停止は、真夏の電力需要期の電力供給に支障をきたすことが見込まれ、政府の夏期の電力需給対策等に呼応し、会員所社は節電に努めた。また、海外から日本製動物用医薬品の放射能による汚染に関する照会に対しても、正確な情報を発信した。更に、被災地へ動物用医薬品を緊急供給するとともに、震災により被災した畜産農家及び獣医師に対する支援のため、日本獣医師会や中央畜産会を介し義援金を拠出した。併せて、口蹄疫や鳥インフルエンザのように家畜衛生に甚大なる被害をもたらす伝染病の発生に対する危機対応にも十分配慮した。

我が国のみならず、欧州、米国景気の回復の足取りは重く、動物用医薬品の開発費を削減する要請は強くなっている。良質な動物薬の開発と開発費削減には国際連携も欠かせないことから、VICH（動物用医薬品の承認審査資料の調和に関する国際協力）活動も積極的に展開した。なお、平成23年11月に東京で開催された第26回VICH運営委員会で国際獣疫事務局（OIE）とのパートナーシップの下VICHアウトリーチフォーラムの設置が決定され、今後非VICH諸国・地域は、動物薬の品質向上や新薬への早期アクセスなどのメリットの享受が可能となった。

食の安全・安心に対する国民の関心が高まる中、動物衛生の向上を推進し、人と動物の共生の増進を通じて公衆衛生の向上に寄与するため、平成23年度事業計画に従って次の各種事業等を実施した。

### 1 会員の異動

#### (1) 正会員

平成22年度末の正会員数は68所社（製造会員46、輸入会員20、精密機械器具製造会員1、販売業会員1）であったが、山一薬品産業株式会社退会し、平成23年度末の正会員数は67所社（製造会員45、輸

入会員20、精密機械器具製造会員1、販売業会員1)となっている。

## (2) 賛助会員

平成22年度末の賛助会員数は19団体(所社・人)で、新たに株式会社富士経済とセバ・ジャパン株式会社が新たに加入し、平成23年度末の賛助会員数は21団体(所社・人)となっている。

## 2 総会及び理事会

通常総会1回、理事会3回を開催した。開催日時、場所及び議題は次のとおりである。

### (1) 第44回(平成23年度)通常総会

日時：平成23年5月26日(木)16時～18時

場所：KKRホテル東京(平安の間)

議題： 第1号議案 平成22年度事業報告及び収支決算に関する件  
第2号議案 平成23年度事業計画(案)及び収支予算(案)に関する件  
第3号議案 平成23年度会費の額及び納入方法に関する件  
第4号議案 社団法人日本動物用医薬品協会の定款の変更の案に関する件  
第5号議案 役員補欠選挙に関する件

### (2) 平成23年度第1回理事会

日時：平成23年5月11日(水)14時～17時

場所：スクワール麹町(華の間)

議題： 第1号議案 第44回通常総会に付議する事項に関する件  
第2号議案 第44回通常総会の日程に関する件  
第3号議案 役員補欠選任における役員の推薦に関する件  
第4号議案 新規助成事業等の受入れに関する件  
第5号議案 賛助会員の入会に関する件  
その他

### (3) 平成23年度第2回理事会

日時：平成23年7月15日(金)14時～16時30分

場所：KKRホテル東京(白鳥の間)

議題： 第1号議案 委員会担当理事の選任に関する件  
第2号議案 平成23年度事業実施計画に関する件  
第3号議案 国際養鶏養豚総合展2012への協賛に関する件

第4号議案 東日本大震災に係る義援金の応募に関する件  
その他

(4) 平成23年度第3回理事会

日時：平成23年12月16日（金）15時～16時30分

場所：KKRホテル東京（白鳥の間）

議題：第1号議案 平成24年度暫定予算（案）に関する件

第2号議案 平成24年度事業方針に関する件

第3号議案 勤務時間の改定に伴う就業規則の変更に関する件

第4号議案 V I C H運営委員会委員の選任に関する件

第5号議案 動物用医薬品環境影響評価ガイドラインを協会の  
自主基準とする件

その他

3 総務委員会等の開催

(1) 23年度第1回総務委員会

日時：平成24年3月23日（金）14時～15時30分

場所：東京薬業厚生年金基金 会議室

議題：1 平成24年度事業計画及び予算立案方針について

2 平成24年度会費の賦課方針について

3 役員改選の方式について

4 国庫補助事業への対応について

5 新公益法人制度に向けた対応について

その他

(2) 第6回新公益法人化対応小委員会

日時：平成23年10月13日（木）14時～16時40分

場所：東京薬業厚生年金基金 会議室

議題：1 内閣府指摘に基づく定款変更案の修正について

2 定款変更に伴う諸規程案について

3 公益認定申請のスケジュールについて

その他

(3) 第7回新公益法人化対応小委員会

日時：平成24年3月23日（金）15時45分～16時45分

場所：東京薬業厚生年金基金 会議室

議題：1 今後の対応方針について

2 公益認定申請書案について

3 一般法人（＝移行法人）認可申請について

その他

#### 4 動物用医薬品等の学術の振興及び普及に関する事業

学術講習会、医療機器製造管理者講習会、製造販売管理者講習会、会報（動物薬事、JVPA DIGEST、国際情報誌）の刊行・配布、製造販売指針、薬事関係法令集の刊行、教育研修委員会や広報委員会の開催、ホームページの整備拡充など広報活動を通して、学術の振興及び普及の促進を図った。

##### (1) 講習会等の開催

###### ア 第43回学術講習会

開催地：東京

開催日：平成23年11月15日（火）10時～16時

場 所：東京薬業健保会館 講堂

参加者：140名（会員134名 一般6名）

(講演内容)

- ①最近の動物衛生を巡る諸情勢について
- ②豚のウイルス病と防疫について
- ③コンパニオンアニマルの獣医高度医療における動物用医薬品の今後のあり方

###### イ 第1回動物用医療機器製造管理者講習会

開催地：東京

開催日：平成23年12月7日（水）10時～16時

場 所：東京薬業健保会館 講堂

参加者：110名（会員60名 一般50名）

(講演内容)

- ①最近の動物薬事を巡る諸情勢について
- ②動物用医療機器の製造販売許可申請の手続き
- ③動物用医療機器の製造販売の具体例
- ④動物用医療機器マーケット調査

###### ウ 第32回動物用医薬品等製造販売管理者講習会

(ア) 開催地：東京

開催日：平成24年2月21日（火）10時～16時

場 所：日本教育会館 大ホール

参加者：280名（会員184名 一般76名 県20名）

(イ) 開催地：大阪

開催日：平成24年2月24日（金）10時～16時

場 所：ホテルグリーンプラザ大阪 ダイヤモンドの間

参加者：119名（会員74名 一般31名 県14名）

(講演内容)

- ①最近の動物薬事を巡る諸情勢について
- ②動物用医薬品等の製造販売承認申請の手続きに関する説明
- ③動物用医薬品等の製造販売業の許可申請等の手続きについて

(2) 広報活動事業

公益事業活動の一層の推進を図るため、ホームページ収載事項の見直し、動物薬に関する普及、動物薬の適正使用の推進ための広報活動を展開した。

(3) 委員会の開催

ア 教育研修委員会

日時：平成23年7月13日（水）13時30分～15時

場所：東京薬業厚生年金基金 会議室

- 議題：1) 第43回学術講習会開催計画  
2) 第32回動物用医薬品等製造販売管理者講習会開催計画  
3) 秋の特別研修会実施計画  
4) 動物用医療機器承認・許可申請講習会開催について  
5) その他

イ 広報委員会

日時：平成23年6月15日（水）13時30分～15時30分

場所：東京薬業厚生年金基金 会議室

- 議題：1) JVPA DIGEST 第41号の編集  
2) JVPA DIGEST 第42号の企画  
3) 協会ホームページについて

日時：平成23年9月14日（水）13時30分～15時30分

場所：東京薬業厚生年金基金 会議室

- 議題：1) JVPA DIGEST 第42号の編集  
2) JVPA DIGEST 第43号の企画  
3) 協会ホームページについて

日時：平成24年1月18日（水）13時30分～15時30分

場所：東京薬業厚生年金基金 会議室

- 議題：1) JVPA DIGEST 第43号の編集  
2) JVPA DIGEST 第44号の企画

ウ 国際情報委員会

日時：平成23年5月18日（金）13時30分～15時30分

場所：東京薬業健保会館 会議室

- 議題： 1) 第104号誌の編集  
2) 第105号誌の候補記事の選定

日時：平成23年8月24日（水）13時30分～15時30分

場所：東京薬業厚生年金基金 会議室

- 議題： 1) 第105号誌の編集  
2) 第106号誌の候補記事の選定

日時：平成24年2月15日（水）13時30分～15時30分

場所：東京薬業厚生年金基金 会議室

- 議題： 1) 第107号誌の編集  
2) 第108号誌の候補記事の選定

#### (4) 会報等配布事業

##### ア 動物薬事

第49巻第4号～第50巻第3号の12号

毎月25日に発行

##### イ JVPA DIGEST

第41号～第43号の3号

平成23年7月、10月、平成24年2月に発行

##### ウ 国際情報

第103～107号の5号

平成23年5月、6月、9月、11月、平成24年2月に発行

#### (5) 関係図書出版事業

##### ア 動物用医療機器製造販売指針(2011年度版)の発行

発行時期：平成23年12月

発行部数：200部

##### イ 動物用医薬品、医薬部外品及び医療機器 製造販売高年報の発行

平成17年～21年

発行時期：平成24年3月

発行部数：150部

##### ウ 動物用薬事関係法令集の発行

発行時期：平成24年2月

発行部数：700部

## 5. 動物用医薬品等の関係法令等の調査及び研究に関する事業

動物薬事問題定例協議会の開催により承認審査等に係る提案事項の意見交換を行うとともに、VICH各作業部会専門医委員会の開催により、関係法令の調査及び研究、関係ガイドラインの策定、動物用医薬品の承認基準の国際的調和、各国承認基準等の調査・研究を行った。また、VICH対応委員会、抗菌性物質製剤委員会、生物学的製剤委員会、技術問題検討委員会を開催して動物用医薬品等に係る制度及び制度から派生する今日的な諸課題について検討した。

### (1) 第22回動物薬事問題定例協議会

日時：平成23年12月6日（火）15時30分～18時30分

場所：東京薬業健康保険組合薬業健保会館 会議室

議題：第22回定例協議会提案事項に対する回答と質疑

参集者：①技術問題検討委員会委員 ②農林水産省

③協会事務局

### (2) エコフィード利用安全推進事業（平成21年度～23年度継続事業： JRA助成事業）

エコフィードに添加する抗菌剤等の影響程度を調査・分析し、抗菌剤の適切な使用方法の普及・啓発を図った。

#### ア 委員会の開催

##### (ア) 事業推進検討委員会

日時：平成23年11月25日（金）13時30分～16時15分

場所：東京薬業厚生年金基金 会議室

議題：事業推進検討

日時：平成24年3月16日（金）13時30分～15時

場所：東京薬業厚生年金基金 会議室

議題：1) 平成23年度事業報告

2) 本事業の総括

##### (イ) 専門委員会の開催

日時：平成23年6月17日（木）13時30分～16時

場所：東京薬業厚生年金基金 会議室

議題：事業実施方法

日時：平成23年10月20日（木）13時30分～16時

場所：東京薬業厚生年金基金 会議室

議題：1) 平成23年度事業報告

2) 事業総括

3) 自己評価の検討

## イ 調査研究事業

### (ア) 抗菌活性等確認試験

①エコフィード2種のpH試験

②平成22年度調査で影響が認められた抗菌剤とそのエコフィードに関する確認試験を行った。

## ウ 普及啓発事業

(ア) 本事業の最終年度にあたり、マニュアル400冊作成、エコフィード対応情報検索システムの構築とホームページでの掲載、獣医師・医薬品販売業者向け講習会を2回実施（獣医師52名、販売業206名）し、映像情報（DVD）300枚を作成した。

### (3) 動物用生物学的製剤基準国際化対策事業（平成21年度～25年度継続事業：国庫補助事業）

動物用生物学的製剤基準を製剤毎の規定から成分毎の規定（モノグラフ化）と、ワクチンの研究開発・承認申請事務の効率化に資する事業。EU、米国等の調査結果を基に動物用生物学的製剤化案、製剤基準構成案、製剤評価法案、製剤評価システム案、成分各条化作成モデルを作成した。

## ア 委員会の開催

### (ア) 動物用ワクチン基準国際化検討委員会

日時：平成23年12月22日（木）13時30分～15時30分

場所：東京薬業厚生年金基金 会議室

議題：1) 今年度事業について

2) ガイドライン作成委員会検討結果報告

日時：平成24年3月6日（火）13時30分～15時30分

場所：東京薬業厚生年金基金 会議室

議題：1) ガイドライン作成委員会検討結果報告

### (イ) ガイドライン委員会



日時：平成23年12月2日（金）13時30分～15時30分

場所：東京薬業厚生年金 会議室

- 議題：1) 今年度事業について  
2) 動生剤基準構成要件について  
3) 混合製剤について

日時：平成24年2月8日（水）13時30分～15時30分

場所：馬事畜産会館 会議室

- 議題：1) 動生剤基準構成要件の検討及び混合製剤基準について

#### イ 製剤要件及び成分各条原案の作成

- (ア) 成分各条原案の作成（㈱シーエーエフラポラトリーズの実施）  
(イ) 成分各条原案の作成（㈱インターベットの実施）

#### ウ 動物用生物学的製剤基準関係情報収集・分析

混合製剤の成分干渉作用確認法、安全性確認法、有効性確認法等調査及び同等性の範囲と同等性の確認法の調査と編集並びに原案の作成

- (ア) 混合製剤の調査と原案作成（日生研㈱の実施）  
(イ) 混合製剤の調査と原案作成（㈱科学飼料研究所の実施）  
(ウ) 総則等の構成原案の作成（（一財）化学及血清療法研究所の実施）  
(エ) 総則等の構成原案の作成（共立製薬㈱の実施）

#### (4) 動物用医薬品国際基準等対策事業（平成21年度～25年度継続事業： 国庫補助事業）

適正な審査資料の作成及び迅速な承認審査の促進に資することを目的とする事業。動物用医薬品の承認審査資料に関する日、米、欧の3極による国際基準作成及び試験法ガイドライン作成のための情報収集・分析、調査・試験の実施と国際会議を開催した。

#### ア 社団法人日本動物用医薬品協会実施分

##### (ア) 専門委員会（国内委員会）の開催

###### ア) 企画調整委員会

日時：平成23年11月8日（火）15時～18時30分

場所：農水省消費・安全局 会議室

###### イ) 生物学的製剤検査法専門委員会

日時：平成23年9月2日（金）13時30分～15時30分

場所：薬業健保会館 会議室

日時：平成24年3月1日（木）13時30分～15時30分  
場所：東京薬業厚生年金基金 会議室

ウ) 生物学的同等性専門委員会

日時：平成24年2月29日（水）13時30分～15時30分  
場所：馬事畜産会館 会議室

(イ) 国際会議の開催

ア) 第26回運営委員会

日時：平成23年11月14日（月）、16日（水）～17日（木）  
場所：東京 秋葉原 UDX コンファレンス  
（業界側委員：小松忠人（DSファーマアニマルヘルス）  
梶原雅哉（共立製薬）伊藤治（日本動物用医薬品協会））

イ) グローバルアウトリーチコンタクトミーティング

日時：平成23年11月15日（火）  
場所：東京 秋葉原 UDX コンファレンス  
（業界側委員：小松忠人（DSファーマアニマルヘルス）  
梶原雅哉（共立製薬）伊藤治（日本動物用医薬品協会））

ウ) 生物学的製剤検査法作業部会

日時：平成23年9月26日（月）～28日（水）  
場所：フランス ストラスブール  
（業界側委員：山崎 康人（共立製薬））

ウ アームズ株式会社実施分

(ア) 関係情報調査及び収集・提供

専門委員会の検討に資するため、米国・欧州・国際機関等の動物用医薬品関係基準・ガイドライン等に関する資料を調査・収集・翻訳した。

(イ) 各種ガイドラインの翻訳

国際会議の開催時に国内の動物用医薬品承認基準、各種試験ガイドラインを翻訳して提供した。

(5) 動物用医薬品等規制緩和対策事業（平成21年度～23年度継続事業：  
国庫補助事業）

承認申請事務の効率化を推進することにより、家畜衛生の向上並びに国民の保険衛生の向上に資することを目的とし、動物用医薬品等のうち、安全性

上特に問題のないものについて、動物用医薬品から動物用医薬品部外品への移行と、承認審査の迅速化に必要な検討資料を作成した。

#### ア 委員会の開催

##### (ア) 動物用医薬部外品規制緩和委員会

日時：平成23年12月1日（木）13時30分～16時

場所：東京薬業厚生年金基金 会議室

議題：農林水産大臣指定動物用医薬部外品基準の作成

日時：平成24年2月9日（木）14時～16時

場所：東京薬業厚生年金基金 会議室

議題：大臣指定動物用医薬部外品の基準の作成及び報告書原案

##### (イ) 動物用医薬品承認審査等規制緩和委員会

日時：平成23年12月19日（月）13時30分～15時30分

場所：東京薬業厚生年金基金 会議室

議題：1) 条件付き承認制度について  
2) 承認審査資料の簡略化について  
3) 相談制度について

日時：平成24年2月22日（水）14時～16時

場所：馬事畜産会館 会議室

議題：1) 条件付き承認制度原案の検討  
2) 承認審査資料の簡略化原案の検討  
3) 相談制度原案の検討

#### イ 関係情報の調査・収集・翻訳を提供（アームズ株式会社実施）

(ア) 米国・欧州等の規制に関する情報・資料

(イ) 医薬品の医薬部外品への移行について関係業者の要望及び規制緩和措置内容への意見についての調査

(ウ) 軽微変更に係るホームページの活用度の調査及び報告

#### (6) 口蹄疫簡易診断キット実用化促進事業（平成23年度新規事業：国庫補助事業、平成23年度で終了）

口蹄疫が疑われる家畜を発見した獣医師が特別な機器等を用いることなく、現場で迅速に診断できる簡易診断キットを、他の診断薬等で既に実用化されている技術等を用いて開発し、病気を早期に発見する体制を整備することを目的とする事業。海外で開発された簡易診断キットの問題点を踏まえ、診断薬の特性による開発に必要な試験の範囲及び要件について検討した。ま

た、海外の口蹄疫診断キットに関する問題点等の調査を実施した。

ア 委員会の開催

(ア) 口蹄疫簡易診断キット実用化促進開発委員会

日時：平成23年12月20日（火）13時30分～16時

場所：東京薬業厚生年金基金 会議室

議題：1) 委員会委員長の互選について

2) 事業の概要について

3) 平成23年度事業計画(案)について

4) その他

日時：平成24年3月14日（水）13時30分～16時

場所：馬事畜産会館 会議室

議題：1) 平成23年度事業について

2) その他

イ 関係情報の調査・収集・翻訳を提供（アームズ株式会社実施）

(ア) 米国・欧州及び韓国等の口蹄疫診断キットの規制状況等の調査

(イ) 海外の口蹄疫診断キットの使用上の注意・取扱い上の留意事項の調査

(7) 委員会の開催

ア 抗菌性物質製剤委員会

日時：平成23年4月20日（水）13時30分～15時30分

場所：東京薬業厚生年金基金 会議室

内容：獣医師による責任ある抗菌剤の慎重使用に関するガイドライン（案）に対する抗菌性物質製剤委員会の意見について

「動物用抗菌性物質製剤のリスク管理措置策定指針（仮称）案の説明会（第一回）」

日時：平成23年11月22日（火）13時～14時30分

場所：東京薬業厚生年金基金

内容：動物医薬品検査所 濱本検査第二部長からリスク管理措置策定指針（仮称）案について説明

「同（第二回）」

日時：平成24年3月22日（火）10時30分～12時

場所：東京薬業厚生年金基金 会議室

内容：農水省消費・安全局畜水産安全管理課 関口課長補佐からリス

## ク管理措置策定指針（仮称）案について説明

### イ 生物学的製剤委員会

日時：平成24年3月26日（月）13時30分～15時

場所：東京薬業厚生年金基金 会議室

議題：検定合格証紙について

### ウ 技術問題検討委員会

日時：平成23年8月5日（金）13時30分～16時

場所：東京薬業厚生年金基金 会議室

議題：1）第22回動物薬事問題定例協議会提案事項について

日時：平成23年12月6日（火）14時～15時30分

場所：東京薬業健康保険組合薬業健保会館 会議室

議題：1）第23回動物薬事問題定例協議会提案事項の募集について

2）その他

### エ VICH対応委員会

日時：平成23年11月9日（水）10時30分～12時

場所：東京薬業厚生年金基金 会議室

議題：1）VICH進捗状況について

2）グローバルアウトリーチ会議に向けて

3）その他

### オ 開発・改良委員会

日時：平成23年11月22日（火）14時～16時

場所：馬事畜産会館 会議室

議題：1）委員長及び副委員長の互選

2）新規事業の検討

### カ 家畜共済委員会

日時：平成24年2月22日（水）14時～16時

場所：薬業健保会館 会議室

議題：1）共済薬価算定方法について

2）アンケート調査について

## (8) 国際機関連携確保事業

優良な動物用医薬品の開発、開発費の削減、流通上の問題点の調査のため、IFAH（世界動物薬企業連盟）をはじめとする国際機関との関係強化に努めた。

ア IFAH第22回通常総会

日時：平成24年3月29日（木）

場所：ベルギー ブラッセル

- 議題：1) 2011年の決算と2012年の予算案の承認  
2) 2012年会費案の承認  
3) 2012～13年の事業計画案について  
4) 2011年の理事会決議の報告

## 6. 動物用医薬品等の開発・改良及び製造技術の向上に関する事業

動物用医薬品等の開発事業の実施、開発促進のための検討会の開催を行い、動物用医薬品等の開発・改良及び製造技術の向上の促進を図った。

### (1) 防疫用ワクチン備蓄システム高度化事業

(平成23～25年度：JRA助成事業)

(財)全国競馬・畜産振興会からの助成を受けて、馬インフルエンザ茨城株の試作原液の長期保存安定試験を行い、保存原液の有用性を確認した。また、保存中の鳥インフルエンザワクチン Vac-1 株の保存安定性試験及び Vac-3 株の試作原液を製造し、併せて保存安定性を確認した。

#### ア 防疫用ワクチン備蓄高度化推進事業委員会の開催

日時：平成23年7月12日(火) 13時30分～17時

場所：東京薬業厚生年金基金 会議室

- 議題：1) 事業計画  
2) 試験用ワクチン株の選定  
3) ワクチン保管条件及び原液の安定性試験実施方法の作成

日時：平成24年3月9日(金) 13時30分～16時

場所：東京薬業厚生年金基金 会議室

- 議題：1) 平成23年度事業報告、24年度事業計画(案)の検討  
2) ワクチン原液保存管理要件の調査

### (2) 抗菌性物質薬剤耐性評価情報整備事業(平成22年度～継続事業：国庫補助事業)

食品を介してヒトに薬剤耐性菌が伝搬する可能性が懸念されている中、家畜に抗菌性物質が使用された場合のヒトの健康に対するリスク評価するリスク管理措置のための情報の収集及び解析を行う。本年度は飼料添加物と共通の抗菌剤コリスチンを食品安全委員会で評価するための資料を取りまとめた。

ア 食品健康影響評価情報検討委員会の開催

日時：平成23年11月4日（金）13時30分～15時30分

場所：東京薬業厚生年金基金 会議室

議題：事業計画と報告書作成方法について

日時：平成24年2月16日（木）13時30分～15時30分

場所：馬事畜産会館 会議室

議題：事業報告について

イ 抗菌性物質製剤製造販売所社担当者会議の開催

日時：平成23年11月8日（火）13時30分～16時

場所：農水省共済組合南青山会館 会議室

議題：対象の抗菌性物質（コスチリン）についての情報収集と報告書作成方針

日時：平成24年1月6日（金）13時～15時

場所：ホテルかずさや 会議室

議題：コスチリンの情報収集と報告書作成

日時：平成24年2月6日（月）13時30分～16時

場所：東京薬業厚生年金基金 会議室

議題：コスチリン報告書の確認

## 7. 動物衛生向上対策に関する事業

人獣共通感染症等が多発していることを踏まえ、国家防疫の推進に協力するため、狂犬病ワクチンシード委員会の開催、国内外における人獣感染症への防疫資材に関する情報の収集・提供、調査・研究を行うとともに、日本獣医師会や中央畜産会を介し、東日本大震災の被災した畜産農家及び産業動物獣医師に対し義援金を拠出した。

### (1) 委員会の開催

ア 狂犬病ワクチンシード委員会

日時：平成23年4月15日（金）13時30分～16時

場所：協会 会議室

議題：1) 狂犬病 TC 不活化ワクチンの保存安定性期間延長について  
2) シードロットシステムの導入について  
3) シード委員会の名称変更について

- 4) 参照ワクチン状況について
- 5) その他

日時：平成23年9月9日（水）13時30分～16時

場所：協会 会議室

- 議題：1) シードロットシステムの導入について  
2) その他

## (2) 防疫資材等安定供給対策事業

(事業目的)

東日本大震災に伴う動物用医薬品の製造施設等の被災、電力会社の計画停電、原材料確保難による製造計画への支障、輸送システムの崩壊による製造計画への支障、輸送システムの崩壊による配送への支障、被災動物の救援等動物医薬品の安定供給に支障となっている課題について、要請活動等を通じてその解決を図り、動物用医薬品の安定的な流通に努めた。

(事業内容)

### ア 動物用医薬品等安定的供給確保対策

(ア) 製造所等被災現況調査

(イ) 製造状況調査

(ウ) 被災地流通調査

### イ 被災動物救護支援対策

(ア) 救援物質調査

(イ) 緊急災害時動物救援の支援

## 8. 収益等事業

動物用医薬品等に対する理解の醸成と知識の啓発・普及に貢献するために書籍を出版する事業。また、意見交換会等を開催して情報発信を行い、適時・適切な会員宛の情報提供の強化を図る事業を実施した。

### (1) 出版事業

家畜共済薬効別薬価基準表（平成23年度版）の発刊

発行時期：平成23年4月1日

発行部数：1350部

### (2) 意見交換会開催事業

日時：平成24年1月6日（金）

場所：スクワール麴町

参集：180名



**9. その他協会の目的を達成するために必要な事業**

行政当局からの通知の伝達、関係団体、海外の政府機関、団体との交流、連携を通じて情報を収集し、当協会の会務に活用した。